



新着図書 ～阿波高校図書館に入った本を紹介します～

総記	生成 AI で世界はこう変わる	今井 翔太 // 著
	生成 AI が変える未来	落合 陽一 // 編集
歴史 地理	沖縄について私たちが知っておきたいこと	高橋 哲哉 // 著
	共生と記憶の比較文化論	都留文科大学比較文化学科
	不登校の女子高生が日本トップクラスの同時通訳者になれた理由	田中 慶子 // 著
社会 科学	教えから学びへ	汐見 稔幸 // 著
	民主主義とは何か	宇野 重規 // 著
	地方を生きる	小松 理虔 // 著
	多様性との対話	岩渕 功一 // 編著
	社会的処方	西 智弘 // 編著
	移民と日本社会	永吉 希久子 // 著
	「人それぞれ」がさみしい	石田 光規 // 著
	プライバシーという権利	宮下 紘 // 著
	算数文章題が解けない子どもたち	今井 むつみ // 著
	現場から考える国語教育が危ない!	村上 慎一 // 著
	経済学の思考軸	小塩 隆士 // 著
	スタートアップとは何か	加藤 雅俊 // 著
	罪を犯した人々を支える	藤原 正範 // 著
自然 科学	バッタを倒すぜアフリカで	前野ウルド浩太郎 // 著
	G2P-Japan の挑戦	佐藤 佳 // 著
	生命と非生命のあいだ	小林 憲正 // 著
産業	SDGs から考える世界の食料問題	小沼 廣幸 // 著
言語	悪口ってなんだろう	和泉 悠 // 著
読み物	クスノキの女神	東野 圭吾 // 著
	アリアドネの声	井上 真偽 // 著
	すべての恋が終わるとしても 140 字の恋の話	冬野 夜空 // 著
	すべての恋が終わるとしても 140 字のさよならの話	冬野 夜空 // 著
	十角館の殺人 新装改訂版	綾辻 行人 // [著]
進路	建築学部	いのうえ りえ // 著

○図書委員さんのオススメ!

「檸檬」 梶井 基次郎 / 著

「-だったら」と考えたことはないでしょうか。また以前は好きだったものが不意に好きではなくなったり、嫌になったことはないでしょうか。この本は美しい音楽や洒落た切子細工や煙管などといった高価な嗜好品を好んでいた主人公が、ある時を境にそれらを見るのも辛くなります。そんな主人公が次に惹かれたものが見すばらしくて美しいもの、壊れかかった街だとか、花火だとか、びいどろだとか、檸檬だとか。そしてその檸檬を買い「-だったらどんなに面白いだろう」と空想します。この本は比較的短めで読みやすいので最近物事の見方が変わった人だとか文学に興味のある人にぜひ読んでいただきたいと思います。

「君の臍臓をたべたい」 住野 よる / 著

私が今回おすすめする本は「君の臍臓をたべたい」という本です。主人公である「僕」が同級生・山内桜良の余命が長くないことを知ることから始まります。正反対の性格の二人は互いに懂れるようになり、次第に心を通わせ成長していくところが、この本の魅力となっています。また物語の最後に衝撃の展開があり、ラストまで目が離せません。感動したい人や、心を動かされたい人におすすめしたい本です。ぜひ読んでみてください。

図書館からのお知らせ

○『読み聞かせ“実践”講習会』、『バリアフリー図書を知ろう!』

参加者募集しています。詳しくは教室に掲示している募集要項をご覧ください。申込〆切は7/18(木)。

○読書感想文課題図書、所蔵しています。

「宙(そら)わたる教室」、「優等生サバイバル:青春を生き抜く13の法則」、「私の職場はサバンナです!」

夏休み期間 貸出冊数 10冊→20冊

貸出期間 2週間→夏休み中借りられます